

別紙 1

平成28年度 募集の区域(7月募集)

市町村	整理番号	募集区域の単位	区域の農用地の特徴	区域の担い手の状況	備考
京都市	1	北部	中山間地が多く、主な農作物は水稲であるが、保全管理地も多い。	少ない	
	2	西部	平坦部は基盤整備済の水田等が広がり、水稲・筍のほか、京野菜の生産が盛んである。 中山間地では、水稲やゆず等果樹の生産が行われている。	多い	
	3	東部	平坦部は基盤整備済の水田等が広がり、水稲・九条ねぎなど京野菜の生産が盛んである。 丘陵地では、果樹や筍の生産も行われている。	多い	
	4	京北地域全域	中山間地域であり、水稲が主な農作物である。	少ない	
向日市	5	全域	基盤整備のされていない丘陵地の農地で、たけのこ畑で筍を栽培している。	少ない	
長岡京市	6	全域	平坦部は水田地帯で、水稲やなす・花菜の生産が盛んである。 西部は竹林が多い。	少ない	
大山崎町	7	全域	基盤整備のされていない丘陵地の農地で、たけのこ畑で筍を栽培している。	いない	自動車やモノレールを使用するの運搬は難しい。
宇治市	8	西部	巨椋池干拓地・横島既成田など比較的平坦な立地条件の中で、水稲・野菜・花きなどの生産が行われている沖積低地である。	少ない	
	9	中央部	宇治川沿いの中央部では伝統産業である宇治茶を中心とした農業生産が展開されている山麓丘陵地帯である。	少ない	
	10	東部	山林が広がる東部では林業の他に水稲・花き・畜産・椎茸などの生産が行われている山間地帯である。	少ない	
城陽市	11	全域	農地の大半は平坦であるが、基盤整備率は約5%と低い。農作物の大半は水稲で、いちじく・花き・茶・寺田いも・梅等の栽培もある。	少ない	
久御山町	12	全域	基盤整備済の水田地帯で平坦な区域で、水稲や野菜の生産が多い。	多い	
八幡市	13	全域	水田は、ほぼ平坦で集団化されている。畑は、ほ場整備区域内や東部地域などにおいて、5～10haの団地を形成している。	多い	
京田辺市	14	全域	水田は平坦な集団農地が多い。山間においては傾斜度20%の農地が5～8%を占めている。平均面積は約670m <sup>2</sup> で木津川左岸を中心に10a区画の水田があるものの農道整備や用排水の分離ができていなく耕作に支障をきたしている。	少ない	
井手町	15	全域	農地は、水田を中心に水稲・筍・果樹等栽培されている。	少ない	猿・鹿・猪による獣害が多い。
宇治田原町	16	全域	平坦地が少なく、中山間地の占める割合が大きい。	少ない	猿・鹿・猪による獣害が多い。

市町村	整理番号	募集区域の単位	区域の農用地の特徴	区域の担い手の状況	備考
木津川市	17	木津（旧木津町）	市西部の木津川左岸に展開する田畑混在地区である。平坦部は団地性のある優良な水田で水稻の生産が多い。丘陵部は田畑が混在しており、水稻・大根・じゃがいも等の生産が多い。	少ない	
	18	相楽（旧木津町）	市西部の木津川左岸に展開する地区である。地区西部の丘陵地では住宅開発が完了している。平坦部・丘陵部ともに集団的な広がりをもつ水田と団地化はされていない畑があり、水稻・なす・花菜・いちじくの生産が多く田畑が混在しており、水稻・大根・じゃがいも等の生産が多い。	少ない	
	19	加茂（旧加茂町）	市左岸の旧加茂町の中核的機能を有する区域である。平坦部は広域な優良な水田で水稻の生産が多い。丘陵地は茶、筍等の生産が多い。山間地は水田が介在し、水稻の生産が多い。	少ない	
	20	瓶原（旧加茂町）	木津川右岸に位置し、中央部を国道163号が東西に貫いている。平坦部は水田が広がり、水稻の生産が多いが、水田を活用し花菜・えびいも等が生産されている。丘陵地は段々状の水田と畑が存在し、水稻・茶の生産が多い。	少ない	
	21	当尾（旧加茂町）	市南部に位置し、山間地と平地部に農地が広がり、有力な観光資源もあるため、都市と農村の交流が期待される。平坦地は水田が広がり、水稻の生産が多い。丘陵地・山間地は畑が広がり、きゅうり・ごぼう等の生産が多い。	少ない	
	22	棚倉（旧山城町）	市北部の木津川右岸に位置する。平坦部は水田が広がり、ほ場整備が行われた一部区域では中型機械化に対応する条件を備えており、水稻の生産が多い。丘陵地・山間地は樹園地・畑が広がり、茶・筍・ブルーベリー等の生産が多い。	少ない	
	23	高麗（旧山城町）	旧山城町区域の中部に位置し、国道24号沿いの平坦な農地と丘陵地・山間地の農地に二分されている。平坦部は千両岩揚水機整備事業でパイプライン整備がされた団地性を有する水田及び木津川堤外に畑が広がり、水稻・ほうれんそう・しゅんぎく・みず菜・ぶどう等の生産が多い。	少ない	
	24	上狛（旧山城町）	旧山城町区域の南部に位置し、農地は平坦で、市街地により西部と東部に二分されている。東部は府営上狛東部ほ場整備事業で整備された水田が広がり、水稻の生産が多い。西部は畑が広がり、ほうれんそう・しゅんぎく・みず菜・ぶどう等の生産が多い。	多い	
笠置町	25	全域	中山間地の基盤整備がされていない小規模な農地で大半が水田である。	少ない	猪・鹿・猿による獣害が多い。
和東町	26	全域	傾斜地等を利用した茶園地帯。	少ない	
精華町	27	全域	東部は南北に連担している平坦地であり、水稻を中心に野菜等を栽培している。西部は丘陵地であり、水稻を中心に野菜等を栽培している。中山間地の南部は、水稻を中心に野菜等を栽培している。	少ない	
南山城村	28	全域	茶が主産業の地域で、区域内の3割程度がほ場整備され、主に水稻の生産がなされている。	少ない	
亀岡市	29	全域	全農地面積 2,810ha うち平場 93.2% 中山間 6.8%で構成され、ほ場整備率は 56.4% 施工中を加えて 75.7%である。	中山間地域・・・少ない 平場地域・・・多い	
南丹市	30	園部町	農地の大半が水田を占め、ほぼ基盤整備済の水田地帯である。	多い	
	31	八木町	農地の大半が水田を占め、ほぼ基盤整備済の水田地帯である。	多い	
	32	日吉町	基盤整備済の水田地帯で、水稻や野菜の生産が多い中山間地域である。	多い	
	33	美山町	基盤整備済の水田地帯で、水稻や野菜の生産が多い中山間地域である。	多い	
京丹波町	34	旧丹波町	基盤整備済の水田地帯で、水稻や黒大豆・野菜の生産が多い中山間地域である。	少ない	鹿・猪による獣害が多い。
	35	旧瑞穂町	基盤整備済の水田地帯で、水稻や黒大豆・野菜の生産が多い中山間地域である。	少ない	鹿・猪による獣害が多い。
	36	旧和知町	基盤整備済の水田地帯で、水稻や黒大豆・野菜の生産が多い中山間地域である。	少ない	鹿・猪による獣害が多い。

市町村	整理番号	募集区域の単位	区域の農用地の特徴	区域の担い手の状況	備考
綾部市	37	全域	耕地面積の約87%が水田であり、水稲を中心に麦・小豆等の土地利用型作物や野菜・茶・畜産等を組み合わせた複合経営が行われている。ほ場整備率は約7割である。	少ない	
福知山市	38	全域	全耕地面積の8割が水田で、ほぼ基盤整備済である。水稲をはじめとして、小豆・麦・地域特産作物の生産が盛んである。	少ない	
舞鶴市	39	全域	農地の約7割が水田で、市内のほ場整備率は約6割となっている。	少ない	
宮津市	40	全域	平坦地域・中山間地域ともに水稲を中心に花き類・野菜採種・根菜類の生産が多い。ほ場整備の実施状況は5割程度である。	少ない	
与謝野町	41	加悦	平坦地と中山間地が混在した区域である。平坦地は基盤整備済で、中山間地は5割程度ほ場整備されている。ほとんど水田地帯となっている。	多い	鹿・猪による獣害が多い。
	42	与謝	中山間地の区域で、8割程度ほ場整備されている。ほとんど水田地帯となっている。	多い	鹿・猪による獣害が多い。
	43	桑飼	平坦地と中山間地が混在した区域である。平坦地は基盤整備済で、中山間地は8割程度ほ場整備されている。ほとんど水田地帯となっている。	多い	鹿・猪による獣害が多い。
	44	岩滝	平坦地と中山間地が混在した区域である。平坦地は基盤整備済で、中山間地は6割程度ほ場整備されている。ほとんど水田地帯となっている。	多い	猪による獣害が多い。
	45	三河内	平坦地の区域で、基盤整備済。ほとんど水田地帯となっている。	多い	
	46	岩屋	中山間地の区域で、1割程度ほ場整備されている。ほとんど水田地帯となっている。	少ない	鹿・猪による獣害が多い。
	47	市場	平坦地の区域で、基盤整備済。ほとんど水田地帯となっている。	多い	鹿・猪による獣害が多い。
	48	山田	平坦地の区域で、基盤整備済。ほとんど水田地帯となっている。	多い	鹿・猪による獣害が多い。
	49	石川	平坦地と中山間地が混在した区域である。平坦地は基盤整備済で、中山間地は8割程度ほ場整備されている。ほとんど水田地帯となっている。	多い	鹿・猪による獣害が多い。
伊根町	50	全域	平坦地と中山間地が混在しており、ほとんどが水田地帯である。主に水稲、そばの生産が多く、一部では京野菜の生産も盛んである。	少ない	
京丹後市	51	峰山町	農地は水田と国営開発農地があり、水田では水稲、国営開発農地では露地野菜を中心とした栽培が行われている。	少ない	
	52	大宮町	農地は水田と国営開発農地があり、水田では水稲、国営開発農地では露地野菜を中心とした栽培が行われている。	少ない	
	53	網野町	農地は水田と国営開発農地があり、水田では水稲、国営開発農地では露地野菜を中心とした栽培が行われている。	少ない	
	54	丹後町	農地は水田と国営開発農地があり、水田では水稲、国営開発農地では露地野菜を中心とした栽培が行われている。	少ない	
	55	弥栄町	農地は水田と国営開発農地があり、水田では水稲、国営開発農地では露地野菜を中心とした栽培が行われている。	少ない	
	56	久美浜町	農地は水田と国営開発農地があり、水田では水稲、国営開発農地では露地野菜を中心とした栽培が行われている。	少ない	